

国立大学における若手研究者の育成

国立大学はグローバルな環境の下で、優れた大学院教育を行い、イノベーションを創出する若手研究者の育成に取り組んでいます。



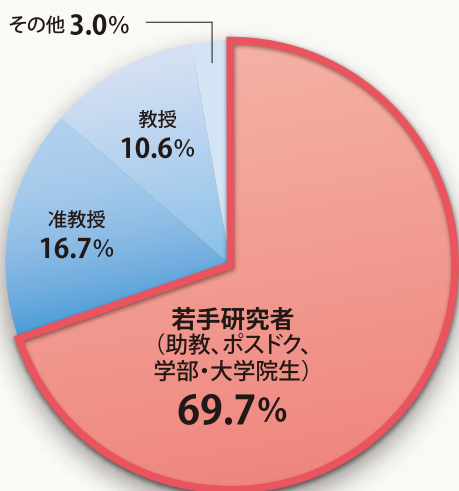
グローバルな環境での研究活動



優れた成果で表彰を受ける国立大学の若手研究者

世界的に注目度の高い論文を執筆する若手研究者の割合

[筆頭著者の地位]



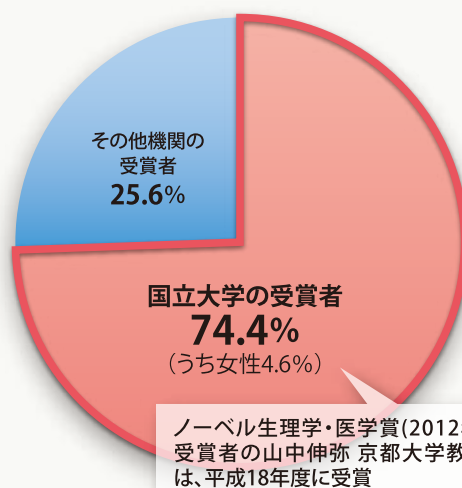
(注) トップ1%論文(被引用回数が上位1%の論文)を「注目度の高い論文」とする。生命科学分野を対象。「その他」には、技術員等を含む。

※ 科学技術政策研究所・一橋大学イノベーション研究センター・ジョージア工科大学編『調査資料-203 科学における知識生産プロセス』(2011年12月)より作成

若手研究者が**大きな**研究成果をあげている

「日本学術振興会賞」の全受賞者に占める国立大学の若手研究者の割合

[平成16年度～平成24年度]



ノーベル生理学・医学賞(2012年)受賞者の山中伸弥 京都大学教授は、平成18年度に受賞

(注) 創造性に富み、優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、今後の研究の発展を支援していく賞。平成16年度に創設。45歳未満の博士号取得者が対象。所属機関・職名は受賞時。

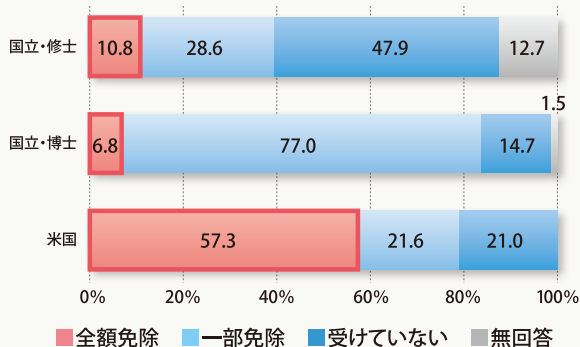
※ 日本学術振興会ホームページ「日本学術振興会賞」より作成

国立大学では優れた**若手研究者**が活躍

わが国の学術研究をリードする若手研究者をめぐる キャリアパスや教育・研究環境は非常に不安定です。

大学院生の学費等にかかる免除の割合

[日本の国立大学と米国との比較]



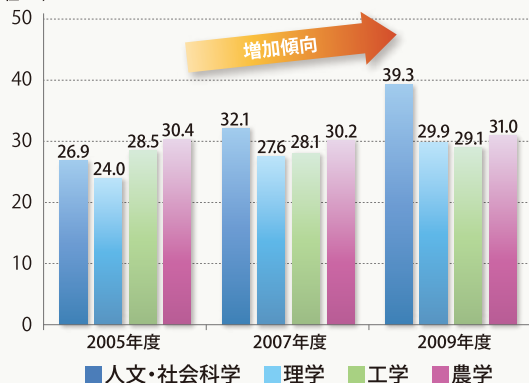
(注) 米国の数値は、修士課程及び博士課程を含む。また、データの都合上、合計が100%にならない。

※科学技術政策研究所「我が国の博士課程修了者の大学院における修学と経済状況に関する調査研究」(2012年3月)より作成

米国と比較して**経済的支援が不十分**

ポスドクのうち35歳以上が占める割合

(単位: %)



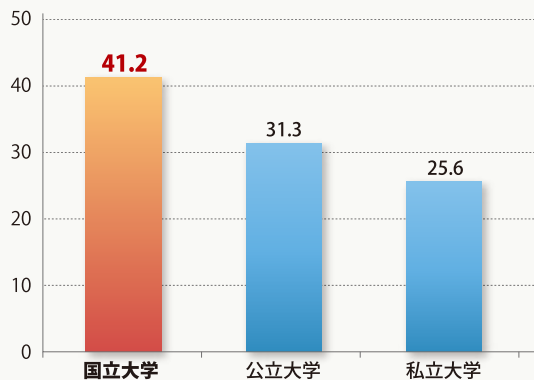
(注) 「任期付きの博士研究員」を「ポスドク」とする。年度内の延べ人数により算出。

※科学技術政策研究所『ポストドクター等の雇用・進路に関する調査』(2011年12月)より作成

ポスドクの**高齢化が進んでいる**

若手研究者の任期付の適用割合

(単位: %)



(注) 助手・助教・講師の職階にある者を「若手研究者」とする。

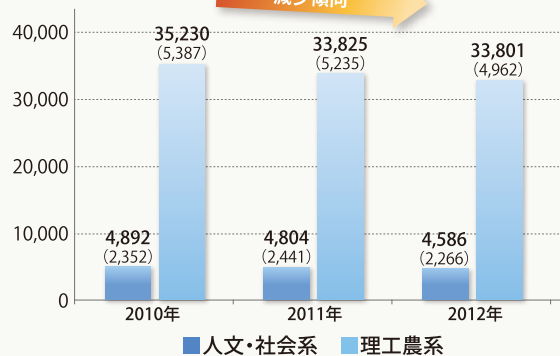
※科学技術政策研究所「科学技術人材に関する調査 [NISTEP REPORT No.123]」(2009年)より作成

国立大学では**4割以上が任期付雇用**

国立大学における大学院の入学者数の推移

[修士課程・博士課程]

(単位: 人)



(注) 括弧内の数値は、女性の学生数を示す。専門職学位課程の大学院生の入学者数は除く。

※文部科学省『学校基本調査』(各年版)より作成

人文社会系・理工農系ともに**入学者数が減少**

国立大学の若手研究者がこれからも安心して研究に専念できるよう、
安定的な財源を基盤とした持続的な支援と制度の弾力化を求めます。



一般社団法人 国立大学協会

The Japan Association of National Universities

<http://www.janu.jp/>

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号(学術総合センター4F)
TEL 03-4212-3506 FAX 03-4212-3509 E-Mail info@janu.jp